

あいづまちなか芸大

会津のまちなかを舞台に、新しい学びの場がスタートします！

芸術を通して、地域・社会・歴史とつながりながら、「つくる」に加え、「まちと関わる」実践を学ぶ地域連携型アートスクールです。学校との連携や公共空間をフィールドにしたワークショップ、地域と協働するプロジェクト、歴史や文化を活かした創造実践など、多彩な講座を展開。高校生から社会人まで、専門経験を問わず参加できます。

会津の未来を、アートの視点で一緒につくってみませんか。

1. 事業趣旨

「あいづまちなか芸大」は、芸術を通して地域・社会・歴史と接続し、創造を実装する人材育成を目的とした、地域連携型アートスクールである。

会津若松市の中心市街地を舞台に、学校・商店街・企業・行政・地域住民・専門家が協働しながら、アートを単なる鑑賞対象としてではなく、「地域に作用する実践」として学ぶ。講座では、美術教育、地域活性、社会課題、歴史文化など多様なテーマを横断しながら、会津という地域資源を活かした創造的実践を行う。まちなかを「学びの場」として活用することで、新たな交流人口・関係人口の創出を目指す。

2. 実施会場 まなべこ（市歴史資料センター）

3. 開校期間 2026年8月23日～2027年2月

4. 募集期間 2026年7月～8月中旬

5. 受講定員 30名

6. 実施回数 全12～16回【各領域3～4回】

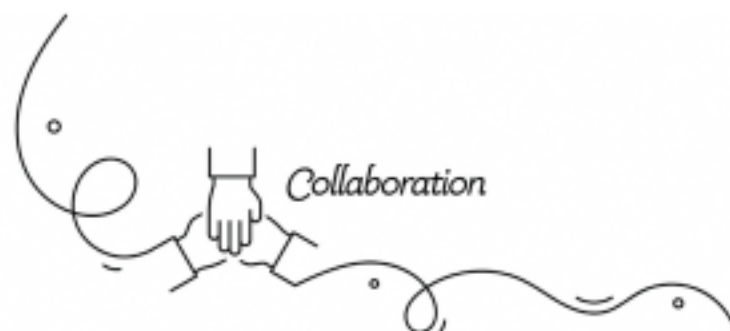
7. 対象 高校生、大学生、社会人、地域住民、企業関係者等

8. 実施形式

講義＋ワークショップ＋フィールドワーク＋制作など

参加費無料

9. 申し込みフォーム



9. カリキュラム

1) 教育と創造性（学校連携） 担当：伊藤将和先生

「ともにまなぶー美術を学ぶ意味、共同制作をふりかえるー」

学校教育との接続を通して、創造性を育むアートの役割を考える。ワークショップや参加型プログラムの企画・実践を行い、次世代のアート人口の創出を目指す。

- ▶主な内容：学校連携、ワークショップ、参加型プログラム、実技指導、創造性教育
- ▶ターゲット：市内中学校・高校、絵を描きたい層、子ども、教育関係者

2) まちの創造（地域） 担当：青山ひろゆき先生

「まちをひらくー地域と関わり、場をつくるアート実践ー」

商店街を舞台に、アートが地域にどのような変化を生み出すのかを実践的に探る。会津の産業や地域資源と連携しながら、居場所や交流を生み出す空間提案を行う。

- ▶内容：商店街連携、公共空間活用、関係人口創出
- ▶ターゲット：市民、地域事業者

3) 社会を創造（社会） 担当：伊藤達矢先生

「関わりを考えるーアートコミュニケーションの実践ー」

過疎化、高齢化、分断など、地域社会が抱える課題に対して、アートがどのように応答できるのかを考える。福祉・医療・行政・企業との連携を通して、アートの社会的価値や文化的循環を探究する。

- ▶内容：社会課題とアート、福祉・医療連携、文化政策、地域循環
- ▶ターゲット：市民、企業、地域活動団体

4) 歴史と創造（文化） 担当：川延安直先生

「むかしをまなぶ いまにいかすー会津の美術をアートプロジェクトで読み直すー」

会津の歴史・文化・民俗・宗教文化などを再解釈し、新たな表現へ接続する。地域に蓄積された記憶や文化資源を未来へ継承する創造実践を行う。

- ▶内容：歴史文化研究、伝統工芸、アーカイブ、保存と再解釈

